

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公開番号】特開2014-223087(P2014-223087A)

【公開日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-066

【出願番号】特願2014-177554(P2014-177554)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/02 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月25日(2016.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

抗がん剤のスクリーニング方法であつて、

(a) 被験物質の存在下及び非存在下、細胞または組織を浮遊させて培養できる構造体を含有することを特徴とする培地組成物中でがん細胞を培養する工程、及び

(b) がん細胞の増殖の変化を測定する工程、
を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

さらに、被験物質の非存在下の場合と比べて、がん細胞の増殖を抑制する物質を候補物質として選択する工程を含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記培地組成物の粘度が、8 mPa·s以下であることを特徴とする、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記構造体の大きさが、フィルターで濾過した場合、孔径が0.2 μm乃至200 μmのフィルターを通過するものであることを特徴とする、請求項1~3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記構造体が高分子化合物を含有することを特徴とする、請求項1~4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】

前記高分子化合物が、アニオン性官能基を有する高分子化合物を含有することを特徴とする、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記高分子化合物が、多糖類であることを特徴とする、請求項5又は6に記載の方法。

【請求項8】

前記アニオン性官能基が、カルボキシ基、スルホ基およびリン酸基からなる群から少なくとも1種選択されることを特徴とする、請求項6に記載の方法。

【請求項9】

前記多糖類が、ヒアルロン酸、ジェランガム、脱アシル化ジェランガム、ラムザンガム

、ダイユータンガム、キサンタンガム、カラギーナン、フコイダン、ペクチン、ペクチ
ン酸、ペクチニン酸、ヘパラン硫酸、ヘパリン、ヘパリチン硫酸、ケラト硫酸、コンドロイ
チン硫酸、デルタマン硫酸、ラムナン硫酸及びそれらの塩からなる群から少なくとも1種
選択されることを特徴とする、請求項7に記載の方法。

【請求項10】

前記多糖類が、ヒアルロン酸、脱アシル化ジェランガム、ダイユータンガム、キサンタ
ンガム、カラギーナン及びそれらの塩からなる群から少なくとも1種選択されることを特
徴とする、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記多糖類が、脱アシル化ジェランガムまたはその塩であることを特徴とする、請求項
9又は10に記載の方法。

【請求項12】

前記脱アシル化ジェランガムまたはその塩の培地組成物に対する最終濃度が、0.00
1~1.0% (重量/容量) であることを特徴とする、請求項11に記載の方法。

【請求項13】

さらに、脱アシル化ジェランガムまたはその塩以外の多糖類を含有することを特徴とす
る、請求項11又は12に記載の方法。

【請求項14】

前記多糖類が、キサンタンガム、アルギン酸、カラギーナン、ダイユータンガム及びそ
れらの塩からなる群から少なくとも1種選択されることを特徴とする、請求項13に記載
の方法。

【請求項15】

前記多糖類が、メチルセルロース、ローカストビーンガム及びそれらの塩からなる群か
ら少なくとも1種選択されることを特徴とする、請求項13に記載の方法。

【請求項16】

前記培地組成物が、さらに、金属イオンを含有することを特徴とする、請求項1乃至1
5のいずれか1項に記載の方法。

【請求項17】

前記金属イオンが、2価の金属イオンであることを特徴とする、請求項16に記載の方
法。

【請求項18】

前記金属イオンが、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、亜鉛イオン、鉄イオンお
よび銅イオンからなる群から少なくとも1種選択されることを特徴とする、請求項17に
記載の方法。

【請求項19】

前記金属イオンが、カルシウムイオンであることを特徴とする、請求項18に記載の方
法。

【請求項20】

さらに、カルシウムイオン以外の金属イオンを含有することを特徴とする、請求項19
に記載の方法。

【請求項21】

前記金属イオンが、マグネシウムイオン、ナトリウムイオンおよびカリウムイオンから
なる群から少なくとも1種選択されることを特徴とする、請求項20に記載の方法。